

発行：一般社団法人 日本児童文芸家協会
発売：あるまじろ書房株式会社
定価：1,100 円（本体 1,000 円＋税）
判型：B5 変型版 ページ数：112～120



『児童文芸』は、日本児童文芸家協会が発行する季刊誌です。

毎号さまざまな特集を組み、作家の創作や編集者の評論などを紹介、「子どもの本」の今に迫ります。

特集のほかに実力派作家の連載読み物や、会員の新刊紹介、エッセイ、さらにコンクールの告知などを掲載。巻頭カラーページには、季節のショートショートや書店紹介のコーナーもあります。

児童書の作家はもちろん、作家を目指している人、読み聞かせなどで児童書に携わる方などにも長年読まれている雑誌です。

【ご注文はこちらまで】

あるまじろ書房株式会社 TEL 025-594-7210 FAX 025-333-0662

または、地方小出版流通センター FAX 03-3235-6182

一般社団法人 日本児童文芸家協会

日本児童文芸家協会は児童文芸の純粋な職能団体として、1955（昭和 30）年に誕生しました。

発起人には、江戸川乱歩・小川未明・大佛次郎・川端康成・久保田万太郎・西條八十・サトーハチロー・佐藤春夫・土家由岐雄・坪田譲治・浜田廣介・福田清人・武者小路実篤・村岡花子・山岡荘八・山本周五郎・吉川英治・吉屋信子など 284 名の作家が名を連ね、初代理事長には「泣いた赤おに」の浜田廣介氏が就任。2011（平成 23）年 7 月に一般社団法人となりました。

創立以来さまざまな事業を実施し、健全な児童文芸の創造発展のための着実な実績と大きな成果を挙げています。その一環として、季刊誌『児童文芸』の発行、また「児童文化功労賞」「日本児童文芸家協会賞」「児童文芸新人賞」を設置し、受賞者を顕彰。一方、才能ある新人の発掘にも力を入れています。全国各地にサークル（勉強会）を設け、活発な活動を行う等、日本の児童文芸に明るい展望を築いています。

<https://jidoubungei.jp>